

林業安全コラム

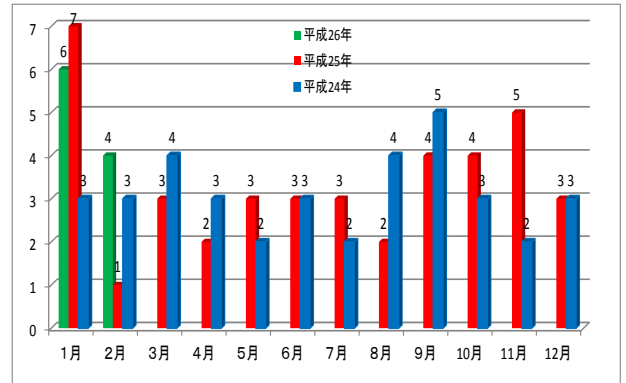
安全意識は命綱 しっかり締めて
目指そうゼロ災

○ 林業労働災害防止の取組について

本年は既に10件(2月27日現在)の死亡災害の報告が該当県から寄せられており、災害多発の傾向が見られる大変憂慮すべき事態となっています。

作業現場におかれましては、下記の事項に留意するとともに、関係者が一丸となって労働災害防止に取り組むようお願いいたします。

- ① かかり木処理作業に係る安全作業の徹底
- ② 指差し呼称と作業者間の合図の徹底
- ③ 緊急連絡体制の確認と確立



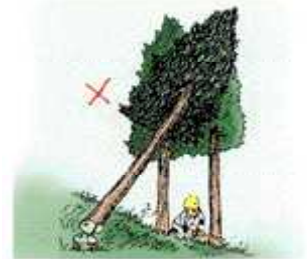
○ 林業労働災害の発生事例について (類似災害防止のために！)

【事例】

被災者は、間伐対象木のスギ立木(L:21m D:20cm)を高さ1.1mのところを斜め切り(クロス Cutting)したところ、残存木にかかり木となった。被災者は、かかっている木の伐倒を行ったところかかり木となっていた間伐対象木が落下し、右側頭部・背中に激突したものと推測。

【かかっている木の伐倒は行わず、フェリングレバー等のけん引具で外すこと】

かかっている木の伐倒



「第4回きこり選手権」開催される (佐賀県情報提供)

佐賀県では、伐採技術者の育成確保と技術向上を目的に、平成22年度から伐木競技大会を開催しています。平成25年11月に開催された「第4回佐賀県きこり選手権」では、県内の林業現場で活躍する技術者18チーム54名が出場し、伐倒、丸太伐り、丸太輪切りリレー、枝払いの全4種目で競技が行われました。

丸太切り競技の様子



なお、大会は、佐賀県内の森林・林業活性化センター及び佐賀市の共催によって開催され、森林管理署、林災防支部、林業普及指導員等が連携して運営に当たりました。

上位入賞者の皆さん



世界伐木チャンピオンシップ(WLC)2014第1回日本大会が5月に青森県で開催されます。

WLCの目的は、林業技術及び安全作業の向上並びに林業の仕事を広く一般に知らしめ、林業の社会的地位向上を図ること、また、将来の林業を担う若手を育成することです。

本大会を契機に今後、国内でのWLC競技人口が増え、さらなる林業技術と安全性の向上が図られることを期待します。

林業労働対策室
労働安全衛生班